



石見銀山
WORLD HERITAGE

石見銀山基金事業報告会

と き：平成24年5月19日（土）13時00分～

ところ：仁万まちづくりセンター2階集会室

（仁摩公民館）

NPO法人石見銀山協働会議

■平成23年度分石見銀山基金事業報告会タイムスケジュール(予定)

	グループ	説明 順番	報告案件	申請団体	報告予定時間
認定 事業	1 (石見銀山を守る活動)	1	クリーン銀山・鞆ヶ浦	馬路地区 社会福祉協議会	13:10～ 14:20
	2 (石見銀山を守る活動)	2	保全活動	銀和会	
	3 (石見銀山を守る活動)	3	大森町 景観保全美化活動	大森町自治会協議会	
	4 (石見銀山を守る活動)	4	大森地区の サクラ保護活動	しまね樹木医会	
	5 (石見銀山を守る活動)	5	琴ヶ浜の清掃	琴ヶ浜観光協会	
	6 (石見銀山を伝える活動)	6	銀山学習プログラム	大田市内 小・中学校	
休憩(10分)					
審査 事業	1 (石見銀山を活かす活動)	7	石見銀山 世界遺産を 守る森づくり グリー ンボランティアツアー	特定非営利活動法人 緑と水の連絡会議	14:30～ 15:50
	2 (石見銀山を活かす活動)	8	銀の道を歩く	石見銀山ガイドの会	
	3 (石見銀山を活かす活動)	9	石見銀山緊急時対応マ ニュアルマップ及びカ テゴリ別観光マップ	大田市観光協会	
	4 (石見銀山を伝える活動)	10	石見銀山の地面の下を 探ろう	石見銀山地質研究会	
	5 (石見銀山を伝える活動)	11	2011 石見銀山三日籠り	NPO 法人しまね歴史 文化ネットワーク もくもく	
	6 (石見銀山を伝える活動)	12	石見銀山の動植物を知 り、伝える	石見銀山とり・む し・はなの研究会	
	7 (石見銀山を究める活動)	13	石見銀とその関連資料 の調査研究	石見銀山の 非文字史料を知る会	
	意見交換				15:50～ 16:25

■石見銀山基金事業 認定事業リスト

グループ	申請団体名	事業概要・効果
石見銀山を守る活動	馬路地区社会福祉協議会 (1次募集)	6月初旬に銀の積出港である鞆ヶ浦と銀山街道鞆ヶ浦道の一部の草刈り・ゴミ拾いを行うことで環境美化が期待できる。
	銀和会 (1次募集)	4月、7月、9月、11月に市道銀山線、遊歩道の竹刈り・草刈り、銀山川のゴミ拾いを行うことで、景観がよくなり来訪者が満足し、石見銀山の価値が高まることで期待できる。
	大森町自治会協議会 (1次募集)	春と秋に県道仁摩・邑南線・町並み・銀山川・宮の前の草刈り・ゴミ拾いや、2月頃に大森町内の樹木の剪定を行うことで来訪者を気持ち良く受け入れ、環境美化の意識が高まる景観保全につながることで期待できる。また、子どもと一緒に参加するので、次世代へ引き継ぐ活動となる。
	しまね樹木医会 (1次募集)	サクラの維持管理に関する研修会の開催と大森町内のサクラの樹勢回復作業を行うことでサクラの維持管理の協力者の拡大や景観の向上が期待できる。
	琴ヶ浜観光協会 (2次募集)	10月頃と3月頃に石見銀山遺跡のバッファゾーンにおける琴ヶ浜の一部の海藻・流木・ロープなどの撤去を行うことで観光客の環境美化意識が高まり、保全へつながることが期待できる。
石見銀山を伝える活動	大田市内小・中学校 (1次募集)	大田市内の23校の小・中学校が石見銀山を訪れ体験活動を通して学習することで、郷土への誇りと愛着の醸成が期待できる。

【MEMO】

■石見銀山基金事業 審査事業リスト

グループ	申請団体名	事業概要・効果
石見銀山を活かす活動	特定非営利活動法人 緑と水の連絡会議 (1次募集)	ツアーを組みボランティアによる竹刈り、ツアー参加者への石見銀山ガイドスを行うことで、景観向上、石見銀山のファンを増やすことで期待できる。
	石見銀山ガイドの会 (1次募集)	街道のウォークを通して石見銀山の関心、理解が深まり、来訪者の増加が期待でき、地域の活性化が期待できる。 【コース】 ①温泉津沖泊道コース、②馬路鞆ヶ浦コース、③本谷・龍源寺間歩コース、④山吹城跡・石銀コース、⑤世界遺産センター・清水谷コース、⑥鞆ヶ浦・海上コース、⑦尾道ルート
	大田市観光協会 (2次募集)	石見銀山を安心・安全な観光地とするため、緊急時対応マニュアルを作製し、速やかに連絡が取れる状況を作る。他にカテゴリー別の観光マップも作製し、事前の旅行計画を立てやすいものにしていき、感想などのアンケートを取ることで、今後の石見銀山の魅力アップが期待できる。
石見銀山を究める活動	石見銀山の非文字資料を知る会 (1次募集)	関東、山口、愛知で石州銀の類例調査を行い、リスト作成することで、石見銀山の調査研究が多角的に進められ、博物館での展覧会資料としての活用が期待できる。
石見銀山を伝える活動	石見銀山地質研究会 (1次募集)	仙ノ山が属する大江高山群の地質を調査することで、石見銀山の価値が一層高まり、地域の理解が深まり、地域への誇りにつながる。また、新たな観光資源開発や地域防災対策にもつながる可能性が期待できる。
	NPO法人しまね 歴史文化ネットワーク もくもく (1次募集)	石見銀山の歴史、生活・文化、遺跡調査などに関する講座や現地踏査などのフィールドワークを組み合わせた3泊4日の講座を開催し、石見銀山の価値を学んだ人達が全国に石見銀山を発信してることが期待できる。
	石見銀山とり・むし・はなの研究会 (2次募集)	世界遺産石見銀山のエリアにおける動植物研究と啓発活動をすることで、動植物の宝庫である環境を来訪者や次の世代に伝えられ、また地域住民も価値を再認識する機会にもなり、伝え方を工夫すれば観光資源としても期待できる。